

GREEN/ SRM

シップリサイクルマネジメント



主な特徴

- ◆造船所、船用メーカー各位のシップリサイクル条約へのスムーズな対応を支援
- ◆材料宣誓書(MD)を電子データで管理することにより、新造船インベントリ作成に関わる膨大なペーパーワークを削減

2009年5月に採択されたシップリサイクル条約において、船舶にはインベントリ(船舶に存在する有害物質の位置及び概算量の一覧)の備付が要求されます。

PrimeShip-GREEN/SRMはクラウド基盤上において必要な情報を管理することで、新造船のインベントリ作成負担を飛躍的に軽減させます。

これまで提供してまいりましたクライアント/サーバー方式のインベントリ作成ソフトウェア PrimeShip-INVENTORYのWeb版としてPrimeShip-GREEN/SRMは開発されました。Web環境の利点を活かし、更なる利便性の向上を実現しております。

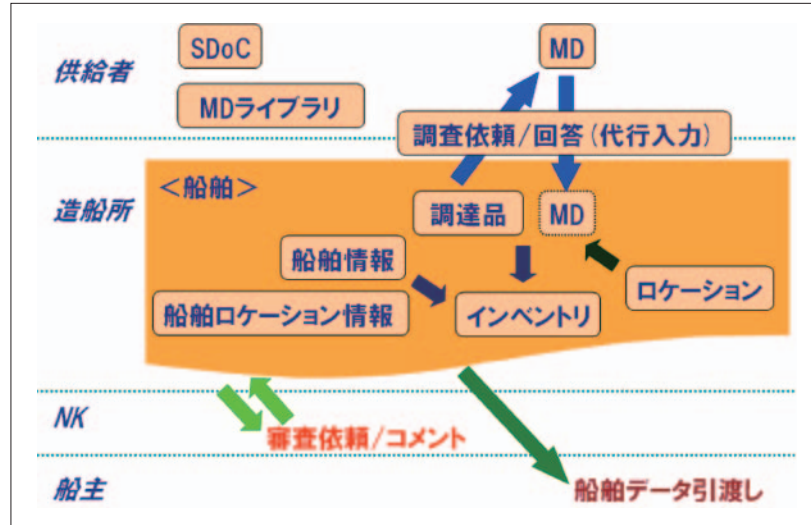
【メーカーの皆様へ】

PrimeShip-GREEN/SRMにより、造船所から寄せられる材料宣誓書(MD)及び供給者適合宣言(SDoC)調査依頼への対応を一元管理することが可能となります。また、MD情報を公開するMDライブラリ機能や従来のMD作成ツールから作成したMD情報の流用機能も備えております。

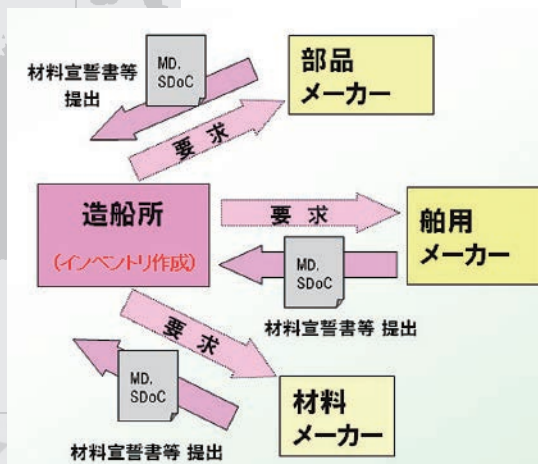
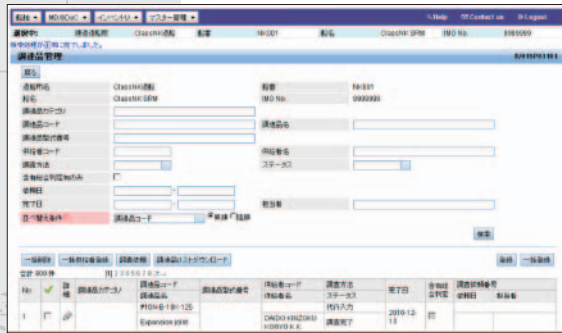
【造船所の皆様へ】

PrimeShip-GREEN/SRMに調達品と供給者の情報を入力し、調査依頼を実施することでMD及びSDoCを容易に入手することが可能となります。収集したMDの内、有害物質を含有している機器等の設置箇所を入力するだけで、インベントリが作成されます。MDデータをインベントリに書き写す手間を省き、設置箇所ごとの有害物質の含有量の計算なども全て自動で行われ、正確なデータ集計が可能です。

システム概念図



スクリーンショット



シップリサイクル条約

2009年5月、IMOにおいてシップリサイクル条約が採択されました。条約発効後は、500総トン以上の全ての船舶(国内で解体される内航船を除く)にインベントリ(船舶に存在する有害物質等の概算量と場所を記載した一覧表)の本船への備え付けが義務付けられます。

新造船のインベントリ作成

新造船のインベントリは、船舶に関わる全調達品について船用機器メーカー、部品メーカー、材料メーカー等から提出された材料宣誓書(MD)及び供給者適合宣言(SDoC)を元に、造船所が有害物質を含有する機器等の設置場所をインベントリ書式に記載することにより作成します。PrimeShip-GREEN/SRMはこのプロセスを電子データを介して行うことにより、造船所及びメーカー各位のインベントリ作成に関わる負担を飛躍的に軽減させます。

PrimeShip-GREEN/SRMの利用方法

PrimeShip-GREEN/SRMの利用に必要なのはWebブラウザ(Internet Explorer, Firefox)のみです。以下のトップページからアクセスし、ユーザー登録を行って下さい。

<https://www.psgreensrm.com>

連絡先:シップリサイクル事業推進チーム
日本海事協会 管理センター
〒102-8567 東京都千代田区紀尾井町4-7
E-mail: srpt@classnk.or.jp